

RFP SAMPLE

そのまま使える
Power PointでつくるRFP/RFIサンプル

RFPサンプル

基幹システム刷新に関する 提案依頼書（RFP）

20XX年〇月〇日
AAAホールディングス株式会社

AAA LOGO

当サンプルを利用するにあたっての注意事項

- 本資料はRFPやRFI作成の際、構成や内容の参考とするためのサンプルです。
- RFP作成にあたりWordが一般的ですが、最近ではPower Pointで作成される場合もあります。貴社の使用する書式をお使いください。
- 文中の「AAAホールディングス」をはじめ、架空の名称・プロジェクトを使用しています。適宜修正してお使いください。
- 本資料はサンプルですので、具体的なシステム名を明記していませんが、的確な提案を受けるために、実際のRFPには現行システムや用途などに応じて修正してお使いください。
- 本資料を使用したRFP/RFIを弊社へご提示いただく際にも、追加で情報をいただく場合がございます。貴社の意図に則したご提案を目指すため、ご了承いただけますと幸いです。

基幹システム刷新に関する 提案依頼書（RFP）

20XX年〇月〇日
AAAホールディングス株式会社

AAA LOGO

目次

1. はじめに
2. 会社概要
3. プロジェクト概要
4. 機能要件
5. 非機能要件
6. プロジェクト運営
7. 諸事項

本資料の目的

AAAホールディングスでは、DX推進のためのレガシーシステム脱却、システム分断の解消による業務効率化などを目的として、基幹システムの刷新を予定しています。

本資料の目的として、皆様より当依頼書に基づきシステム・サービスの導入に関するご提案を頂戴する際に参考となる、AAAホールディングスの基本情報、プロジェクト要件を示すことです。

今回ご提出する当依頼書の内容については、秘密保持契約の締結有無に関わらず、各社様において慎重なお取扱いをお願いいたします。

AAAホールディングス株式会社
基幹システム刷新プロジェクトメンバー一同

会社名	AAAホールディングス株式会社
本社所在地	■大阪 〒530-0053 大阪市北区末広町 xxx TEL：12-3456-7890（代表） ■東京 〒104-0061 東京都中央区銀座 xxx-xxx TEL：12-3456-7890（代表）
代表取締役社長	松下 太郎
設立年月日	19xx年〇月〇日
事業内容	家電製品の製造と販売
資本金	xxx百万円
従業員	xxx名（グループ連結社員数：xxxx名）
売上高	Xxx億円（20xx年4月期）
グループ会社	BBB株式会社、CCC株式会社、DDD株式会社

基幹システム刷新の背景・現状課題

背景

現行の基幹システムは、過去の業務要件に基づいて導入されたものであり、長年の運用を通じて業務に定着しています。しかし、システムの老朽化や柔軟性の不足により、現行業務との適合性に課題が生じています。

これらの課題を解消し、将来的な業務拡大や変化にも対応可能な基幹システムを導入することが求められています。

戦略課題

1. 中期経営計画で掲げる成長戦略や新たなビジネスモデルに、現行システムでは対応が困難
2. DX推進や業務プロセス改革を支える柔軟な基幹システム基盤が不足
3. 事業拡大や新サービス展開に耐えうるシステム構造が未整備

システム課題

1. 現行システムのハードウェア／ミドルウェア保守期限が迫っており、基盤刷新が必要
2. フルスクラッチ開発による属人化や運用負荷の増大
3. システム肥大化により拡張性・保守性が低下
4. 統制面でのリスク（内部統制やセキュリティ対応の不十分さ）
5. 他システムとの連携が複雑化し、データ活用や業務効率化を阻害

プロジェクトの目的・目指す姿

前述の背景・課題を踏まえて、AAAホールディングスでは本プロジェクトの目的を下記のように設定しています。

目的

- 戦略課題の解決に向け、顧客・商品・サービスの価値向上を支える基幹システムを導入し、業務プロセスの標準化と効率化を実現する。
- DX推進により、リアルタイムデータを活用した経営判断の高度化、業務の自動化、ペーパーレス化を加速する。
- 社会課題への対応として、業務の属人化解消、環境負荷低減、柔軟な働き方を支援する仕組みを構築する。
- システム基盤をクラウド化し、スケーラビリティ・セキュリティ・長期運用性を確保する。

目指す姿

- 共通業務プロセスの標準化・統一化。
- データ活用基盤を整備し、迅速かつ精緻な経営判断を可能な状態。
- 外部サービスとのシームレスな連携を実現し、将来的な業務拡張に柔軟に対応する環境。
- 運用負荷を軽減し、属人化を排除することで、持続可能な運用体制を構築。

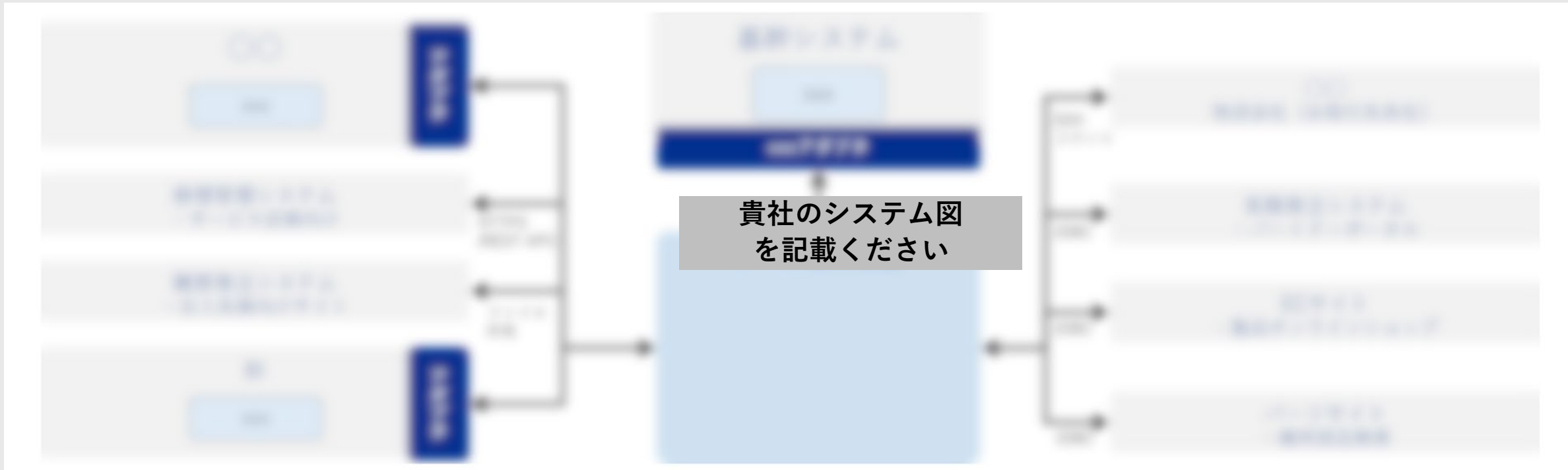
納期

20xx年〇月〇日に、全社一斉導入を想定

※ベンダー決定：20xx年〇月〇日

システム全体図

システム導入のスコープです。



本プロジェクトにおける機能要件は、以下の2つも記載し、Excelにまとめています。

必須要件

当社が必ず実現したい機能です。

要望要件

実現難易度や工数を考慮し、可能な範囲で対応を検討したい機能です。

業務分離 No	【業務分類】	【機能説明】	【補足】	必 須	要 望	【備考】	【貴社回答】
1	受注	・・・		○			
	○○○	・・・			○		
	■■■	・・・			○		

ご提案時に回答いただきたい内容

- 当社要件が貴社製品で実現可能かどうか
- 実現する際の難易度（標準機能で対応可能か、追加開発が必要か）
- 要件通りではない場合の代替案

※ 機能要件一覧に記載の内容は、現行システムでの表現を踏襲しています。必要に応じて個別ディスカッションを行い、当社が実現したい要件の詳細をお伝えしたうえで、貴社システムでの最適な実現方法をご提案いただきたいと考えています。

非機能要件①

プラットフォーム

システム導入後の可用性や拡張性を考慮し、クラウド環境での構築を希望します。

ERP基盤OSに特段の指定はありません。

クライアントはWindows PCを想定しています。

ネットワークは、当社ネットワークからセキュアに接続できることが必須です。

拠点・周辺機器

拠点数：約〇〇拠点

FAX回線：約〇〇回線（注文書受信・発注書送信）

プリンタ：約〇〇台（帳票印刷、倉庫出荷指示書印刷）

拡張性

稼働後もCPU・メモリ・ストレージなどのリソースを容易に拡張できること

グループ会社やクライアントの追加に柔軟に対応できること

可用性

稼働時間：365日24時間（バックアップ・メンテナンス時間を除く）

バックアップ：複数世代の保持

冗長化：サーバー冗長化などにより障害時の停止を最小化

障害復旧：RTO・RPOの目標値を設定し、迅速な復旧が可能であること

非機能要件②

セキュリティ

外部攻撃（DoS/DDoS、OS脆弱性攻撃など）や高負荷時の対策
なりすまし・不正ログイン防止策
通信経路の暗号化、データ漏洩防止策
データ・ログの改ざん防止策
脆弱性対策（サーバー、ネットワーク機器、アプリケーション）
内部者による情報漏洩防止策、権限管理の細分化
監査証跡の取得・保持、ログ・バックアップデータの保護

運用・保守

通常保守：一次対応は当社運用管理チーム、二次対応としてベンダーサポートを希望
オペレーター対応時間：平日9:00～18:00
障害対応：チャット通知による早期検知、障害切り分け資料の提供、緊急時の連絡体制確保

移行方針

トランザクションデータ：可能な限り移行を希望、移行しない場合は参照手段を提案
マスタデータ：最大限移行を希望、データ準備は当社対応を想定

研修

ユーザー研修：約〇〇名対象、複数エリアで実施予定
支援内容：会場準備、研修用PC、マニュアル整備、操作支援
運用管理者研修：首都圏で実施、日程は柔軟に対応

その他貴社にて必要と考える事項があれば提案に含めること

プロジェクト体制

プロジェクトオーナー

経営企画部 ○○ ○○

役割：プロジェクト全体の意思決定、予算承認

プロジェクトマネージャー

情報システム部 ○○ ○○

役割：プロジェクト計画策定、進捗管理、リスク管理

業務リーダー

経理部 ○○ ○○

役割：業務要件定義、業務プロセス設計、ユーザー調整

ITリーダー

情報システム部 ○○ ○○

役割：システム要件定義、技術検討、インフラ構築調整

ベンダーPM

ベンダー企業 選考中

役割：提案内容の実行、開発・導入計画管理

開発チーム

情報システム部 ○○ ○○

ベンダー企業 選考中

役割：システム設計・開発・テスト

移行・研修チーム

業務部門+ベンダー企業 ○○ ○○、○○ ○○

役割：データ移行計画、ユーザー研修実施

ご提案いただく場合、提案書には以下の内容を含めてください。

会社・組織情報

提案内容に関連するすべての会社および組織を明示してください。再委託がある場合は、その委託先についても記載してください。

提案システム概要

- システム機能一覧
- 主要機能の画面レイアウト
- 当社要件に対する適合状況および特徴・有意点

システム構成

- 全体構成図と想定スペック

プロジェクトスケジュール

- 全体スケジュールと役割分担

体制図

- プロジェクトにおける貴社側の体制図
- プロジェクト管理方法
(品質管理、スケジュール管理、リスク管理)
- 会議体の構成と参加者

サポート体制・運用体制・SLA

本番稼働後のサポート体制、運用体制、窓口の有無、SLAなどを明記してください。

納品物一覧

納品物の内容と納品形態を記載してください。可能であればドキュメントサンプルも提示してください。

概算費用

- イニシャル費用（システム開発費、機器購入費、初期ライセンス料など）
 - ランニング費用（システム保守、クラウド利用料など）
- ※ 可変性のある項目はその旨を記載してください。
※ 見積算出根拠（ライセンス計算書、工数一覧など）があれば併せて提出してください。

制約事項

提案における制約事項やリスクを記載してください。

導入事例

同様の業態・規模での導入事例を記載してください。可能であれば発生した課題や対応策も記載してください。

契約内容

契約条件や支払方法など、必要事項を明記してください。

その他

提案書作成にあたり、事前に機密保持契約（NDA）の締結をお願いします。提案書作成にかかる費用は貴社負担でお願いします。

パナソニック デジタルによる包括的なERP導入支援

ERPリプレイスは単なるシステムの入替えではありません。業務プロセスの見直しやデータ移行、導入後の運用まで関わるため、ベンダーには高い専門性と総合的な支援力が求められます。実際にERPリプレイスを支援した経験は必須でしょう。弊社パナソニック デジタル株式会社（以下、パナソニック デジタル）は、パナソニックグループの事業会社に対して、構想策定～製品選定まで支援してきた経験を有しており、製品/ベンダー選定において重要な要素となるRFPの書き方やユーザー/ベンダー目線で必要な情報の提供など幅広く支援することが可能です。

パナソニック デジタルのERPリプレイス導入支援の特徴

企画構想や要求整理からRFP/RFIの作成
支援、ベンダー選定、PMO支援など
一貫通貫でサポート



一貫性のある戦略のもと特殊要件に対しても適切な対策を講じながら推進できるため安心して任せられる

RFPはノウハウを活かした
寄り添った支援が可能



ERPリプレイスの要となるRFP作成の支援はもちろんのこと、担当者のスキル・経験に依存せずプロジェクトをスムーズに進行できる

ERPのユーザーでもある



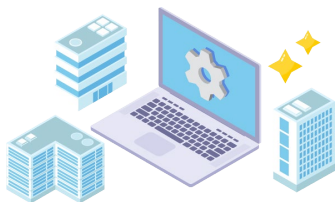
パナソニックグループ内でも様々なERPを実際に使用しているため、製品の良し悪しが客観的に理解できている

**パナソニック デジタルはERPのユーザーでもありベンダーでもあるため、
スムーズなリプレイスを実現する**

パナソニック デジタルが扱う「つくれるERP」とは？

最後に弊社パナソニック デジタルがおすすめするERPをご紹介します。ERP製品は種類が多いため、どの製品を選定すべきか悩むことがほとんどです。そんな中「つくれるERP」として注目されているのが「Biz f」（ Bizインテグラル ）」。国産のパッケージであり、運用保守費の値上がりが少なく、使い続けやすい製品として知られています。経験豊富な弊社がベンダーとしてRFP作成から運用までサポートするため、ERPリプレイスを成功させたい企業に最適です。

Biz f の特徴



本格リリースから14年で採用社数が1,700社以上 ※2024年4月時点

大規模企業（年商500億円以上）向けERPパッケージとして多くの企業に導入されており、業界特化型テンプレートの拡充や最新のデジタルソリューションとの連携を強化したことによってますます採用社数が増えている



一般的な要件の多くを標準機能で提供可能

標準機能で満たせる要件が多く適合率が高い、またアドオン開発が容易で多くの企業にフィットしやすい



スモールスタートが可能

ビックバン形態ではなく機能毎の導入を基本とし、必要なモジュールを必要なところだけで購入可能

Biz f は、企業の導入や運用にかかる負担を軽減し、柔軟な拡張を実現できる

ERP導入のためのRFP/RFI制作で困ったら、パナソニック デジタルへ

リプレイスやクラウド移行を“先送りできない経営課題”と捉える企業は増えています。しかし、最適な製品選定や移行計画には専門的な知見と伴走支援が欠かせません。パナソニック デジタルは豊富な実績とサポート体制で、導入から運用までを一気通貫で支援します。RFPやRFI作成の段階からご相談いただくことも可能ですので、不明点や不安な点がございましたら、ぜひお気軽にお問い合わせください。

基幹システムやERPに関して以下にあてはまる場合にはぜひご相談ください

現行ERPの保守終了後の計画がなく、何から始めるべきかわからない

ERPの導入、リプレイスに際してデータ移行や運用保守、BPR支援サポートを受けたい

導入から運用までワンストップで支援してほしい



お問い合わせはこちら

ご連絡先

パナソニック デジタル株式会社

大阪本社 TEL：06-6906-2801 住所：〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町2番40号 Panasonic XC OSAKA

東京本社 TEL：03-5148-5634 住所：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号 住友不動産汐留浜離宮ビル23階

Panasonic